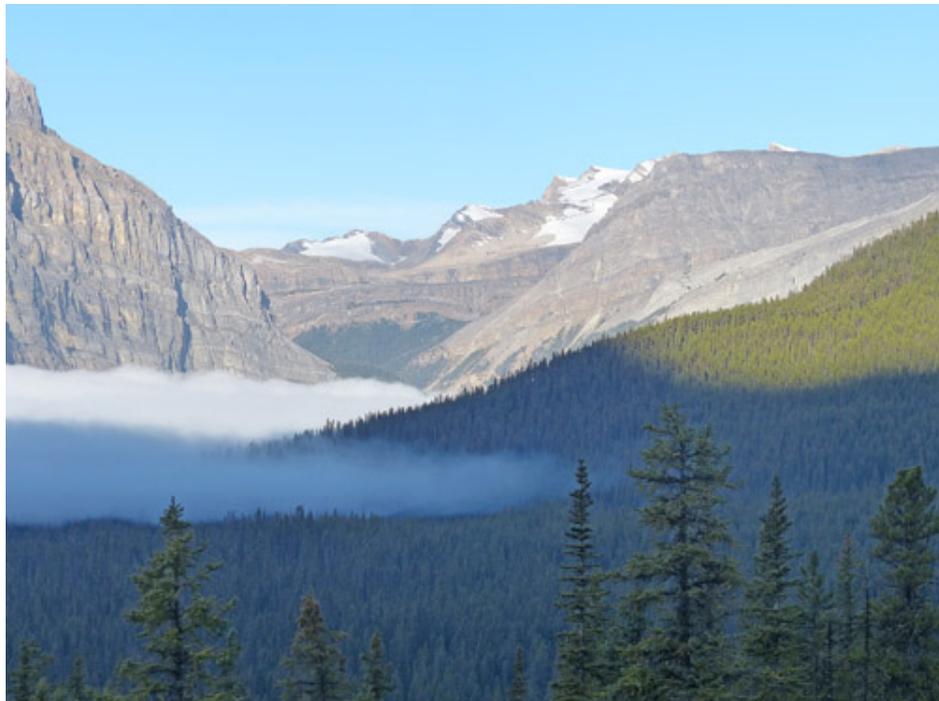


5338 ^{げーぶる} 迎古の世界の旅：水辺への接近は、危険と背中合せ 1137

.....

時と場所によるが、霧やガスで見えない。素晴らしい光景に出会えるか否かは、時の運。
暗い中、アクセスできる、細い道らしい道が、湖水の方向へ。行けるかどうか、確かでない。
時間との戦い。この場所に、危険動物はいないと判断。わけ入った。



～～山はみどり 野に花 人にはこころ～～

「静寂」いや「大寂」といった方が、ふさわしい。さみしいどころか、
ふつふつと、エネルギーが湧いてくる。自然の神秘。表現の言葉がない不思議なひと時。

自然のエネルギーが、注入された。自然と共に、この場に身を置けた有り難さ。

^{みずも}水面も時間の経過と共に、顔を出す。風を感じながら、いや、五感でこのひと時を楽しんだ。

